

やるーよ献血

ハートに近い贈り物

今!! 400mL 献血が多く求められています。

次の条件にかなう方なら
どなたでも献血できます!

- ①現在病気療養中でない方。
- ②3日以内に注射や服薬の方は当日係員におたずね下さい。
- ③3日以内に歯科治療(歯石除去を含む)を受けていない方。
- ④妊娠中でない方、また出産後6ヶ月経過した方。
- ⑤現在著しく疲労、空腹、睡眠不足、風邪気味でない方。
- ⑥過去に手術を受けた事のない方。
*手術を受けても輸血をしない場合がありますのではっきりしない方は当日検診医におたずね下さい。

エイズウイルスに感染している
のではないかと不安のある方は
献血できません。

※献血は、患者さんに安全な輸血をする為にあります。エイズウイルスに感染した血液は医療に使われてはなりません。
だから献血する方に考えてほしいのです。

▼次の項目に該当する方は、献血できませんのでご了承下さい。

- ①不特定の異性と性的接触を持った方。
- ②男性の方:男性と性的接触を持った方。
- ③エイズ検査(HIV検査)で陽性と言われた方。
- ④麻薬、覚せい剤を注射した方。
- ⑤①~④に該当する者と性的接触を持った方。
- ⑥海外から帰国(入国)して4週間以内の方。
- ⑦昭和55年(1980年)以降、ヨーロッパの対象国に滞在(居住)された方。(国名・期間等、詳しくは受付におたずねください)

献血に
行こう!



献血キャラクター

けんけっちゃん



携帯サイトはこちら
<http://www.bc9.org/>

南城市商工会 青年部 献血キャンペーン

平成22年9月14日(火)

南城市役所 大里庁舎 9:00~12:00

Aコープアトール店 13:30~16:30

献血並行の骨髄ドナー登録会も実施します

献血の前日は睡眠5時間以上、当日は食事を摂ってご協力をお願いします

南城市商工会 青年部



お問い合わせ 沖縄県赤十字血液センター献血推進課 ☎(098) 834-3201
沖縄県福祉保健部薬務衛生課 ☎(098) 866-2215

英国滞在歴に関する 献血制限が 緩和されました。

平成17年2月に国内で初めて変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)の患者が確認されたことを受けて、予防的な観点に立った暫定的なものとして、同年6月1日より、1980年から1996年の間に英国に1日(1泊)以上滞在された方からの献血はご遠慮いただいていたのですが、平成21年12月10日に行われました国の薬事・食品衛生審議会血液事業部会運営委員会において、改めて輸血用血液製剤の安全性や安定供給等に及ぼす影響について検討された結果、英国滞在に関する献血制限の緩和が決定されました。

【英国滞在歴に関する献血制限】 下記に該当する方は、これまでどおり献血にご協力いただくことができません。

- (1) 英国に1980年(昭和55年)から1996年(平成8年)までに通算1か月(31日)以上滞在歴のある方。
- (2) 英国に1997年(平成9年)から2004年(平成16年)までに通算6か月以上滞在歴のある方。

※(2)の滞在歴には(1)の滞在歴を加算します。

※英国以外の滞在歴に関する献血制限については、日本赤十字社のホームページ又は最寄りの血液センターにお問い合わせください。

▲ 肝炎ウイルス・エイズウイルスなど、感染の疑いがある方は、絶対に献血しないでください。 <http://www.jrc.or.jp>
お問い合わせは最寄りのセンターまで

献血の豆知識

400mL献血の基準

- ☆ 男性、女性ともに体重50kg以上の方。
 - ☆ 年齢が18歳以上で69歳までの方。(但し65歳以上は60～64歳の間に献血歴のある方。)
 - ☆ 前日の睡眠時間が5時間以上の方で、食事を摂られている方。
 - ☆ 72時間(3日間)以内に治療のため服薬していない方。
(痛み止め、風邪薬、抗生剤、精神安定剤、医療機関から処方中の胃腸薬や薬など)
 - ☆ 400mL献血の間隔が男性で12週間(約3ヶ月)、女性で16週間(約4ヶ月)経過した方。
 - ☆ 年間採血量が男性で1,200mL、女性で800mLを超えていない方。
 - ☆ 過去に輸血や臓器移植を受けたことのない方。
 - ☆ 過去4週間以内に海外渡航歴のない方。また、昭和55(1980)年～平成8(1996)年の間にイギリス滞在歴通算30日以内の方。
 - ☆ 妊娠中や授乳中でない方。
- 以上が代表的な基準です。上記以外でご質問がございましたら、受付係員にお尋ね下さい。

なぜ、400mL献血が必要なの？

輸血を受ける患者さんが800mLの血液を必要としている場合、200mL献血ならば4名分必要ですが、400mL献血ならば2名分で足りるため輸血による副作用の危険性が半減します。(同じ血液型でも一人一人微妙に異なるためなるべく少人数からの輸血が望ましい。)患者さんにとって安全で効果の高い400mL献血のご協力をお願いしております。

400mLも献血して大丈夫なの？

献血の前には、血圧、比重検査(血液の濃度)、医師による問診等、献血者の健康状態を十分にチェックしたうえでお願いしております。(年齢、体重が基準に達しているからといって、すぐに採血するわけではありません)また、血液は体重の約7～8%(体重が50kgの方で約4,000mL)あり、その血液量の15%以内(体重50kgの方なら600mL以内)であれば採血しても医学的に特に問題ないとされています。体重50kg以上の健康な方にとって400mL献血は日常生活に支障ありません。

どうぞこの機会に献血にご協力下さいますようよろしくお願い致します。